

平成29年度市民提案型事業成果報告会が開催されました

2月4日(日)、立佞武多の館で、今年度の市民提案型事業成果報告会が開催され、事業を実施した団体が、市民提案型事業審査会(金目哲郎会長・弘前大学人文社会科学部准教授)をはじめ、会場に集まった方々に対して、1年間の活動の成果を報告しました。

市民提案型事業は、地域の課題解決や活性化に自主的に取り組む市民団体等に対し、市が支援するもので、今年度は、はじめの一歩型が2団体、テーマ設定型が3団体、計5団体が事業に取り組んでいます。

はじめの一歩型で、「やってまれフェスティバル2017」を実施した「やってまれフェスティバル実行委員会」の担当者は、音楽で中心市街地を盛り上げ、まちを元気にする取り組みとして、トカトントンスクエア駐車場で音楽イベントを開催し、約600人の観客を動員するなど、大きな反響があった成果を報告し、今後も課題の改善を行いながら、まちの賑わい創出に向けてイベントを継続していきたいと抱負を述べました。

最後に金目会長が、「地域を元気にさせる取り組み

という、地域経済の活性化を軸に考えがちであるが、今回の各団体に共通したコンセプトとして、世代間交流、人材育成など、心に響くような部分の価値を大事にされていることが印象的だと感じた。今後とも五所川原の発展、次世代の育成に向けた皆さんの活動を期待したい」と総括しました。

問 企画課 内線2153



成果報告を行う「やってまれフェスティバル実行委員会」の皆さん

3月末・4月初めの土曜・日曜日に市役所窓口を開設します

例年、3月下旬から4月上旬にかけては、転入・転出の手続き等で市役所窓口がたいへん混み合います。窓口の混雑緩和と待ち時間短縮のために、以下の土曜・日曜日に市役所窓口を開設しますのでご利用ください。

開設日時 3月31日(土)・4月1日(日) 8:30~17:15

*詳しくは、広報ごしょがわら3月号(P13)または、市ホームページ(<http://www.city.goshogawara.lg.jp/kurashi/kurashi/madogutikaityou.html>)でご確認ください。

五所川原市民憲章

わたしたちのまち五所川原市は霊峰岩木山を望み、津軽平野を潤し十三湖へ流れる岩木川の恵みに生まれ、豊かな地域資源と長い歴史を誇ってきました。

わたしたち市民は、先人たちの不撓不屈の精神によりつくりあげられた歴史と伝統を受け継ぎ、共に支えあい開かれた平和なまちをつくるため、ここに市民憲章を制定します。

- 1 夢と志をもち、発展する郷土をつくります。
- 1 郷土に誇りをもち、文化のかおるまちをつくります。
- 1 学びを続け、健やかで潤いのあるまちをつくります。
- 1 自然を大切に、美しく住みよいまちをつくります。
- 1 きまりを守り、互いに助け合い安全なまちをつくります。

火災・救急出動概況

五所川原市管内 2月の火災、救急、救助出動件数 (単位:件)

区分	火災		救急		救助	
	月別	累計	月別	累計	月別	累計
平成30年	1	3	183	375	0	0
平成29年	2	4	175	383	3	4
比較	△1	△1	8	△8	△3	△4

全国統一防火標語 火の用心 ことばを形に 習慣に

*住宅用火災警報器は10年を目安に取り替えましょう!

五所川原地区消防事務組合消防本部警防課 ☎35-2023(内線1031)

人口と世帯数

平成30年2月末 住民基本台帳 ()内は前月比



人口

55,594人
(-54)



男

25,556人
(-26)



女

30,038人
(-28)



世帯数

25,525世帯
(-10)